

20170430
ねこまた屋

少年ありすと
秘密の扉



成人向
FOR ADULT ONLY

※様子をみま用性化士



あつ文香さん
だめ…ですっ
ん…

でも…こんなに
したままだと
帰れないのでは…

自分で…なんとか
しますから

あります君に
そんなこと
させられません…



あつ…
んっ!

文香さん…っ
何を…

あつ!!

あれから数日――

文香さんに話しかけづらい……

あの時に強く拒否しすぎた気がして……

キライ……

そもそも……なんて……文香さんはあんなこと……

思い出して……

カチカチ……

はら……

あの指が……僕の……に……

あの……ずっと見ていますけどこの本に興味が……？

よろしければお貸ししますよ

え……そんな……見ました……？

えっ……途中のものをそんな……悪いです……

もう何度か読んだ本ですし……

なんでしたら代わりにこれの使い方を教えてください

電子書籍？

えっ……



機械は苦手でしたが、
ありす君を見習って
勉強したいと思って

文香さんあんまり
気にしてない??

あ・あのっ……
本を見ていたわけでは
ないんです……

今なら……
言えるかも……

この間のこと……
文香さんが気にしてたら
どうしようと思っ……

今までみたいになら
接してくれなくなったら
……って……不安で……

ありす君……



あっ……

かま……

よかったか……
嫌われたかと
思っていました……

ありす君が
許してくれるなら
私はいつだって……



あっ……あの
ちよっと……待って……

ほ……

あ……すみません
嫌でしたか?
嬉しくてつい……

あっ……その……
ここ事務所ですし……
誰か来るかも
しれませんから……



こちらを…教えて
いただけますか

キノコ…
か…

あ…は
い…
僕で良ければ…

あります君がいつも
触れているもの…
知っています

そう…ですね
とりあえず本は
お貸ししますので



本だけではなくて
いろいろお買い物も
できるんですよ？
やり方がまだ
よくわからないの
ですけれど…

アマゾン…?

ああ…
それは…ここから
探して…

あれっ？
これ…僕が見ても
いいのかな…



アダルトカテゴリーって
書いてあったような…

購入手続きは
どこで…？

あ…ここです
これで日曜には
届くかと

では…その日に
私の家に来て
くださいますか？

えっ…？
あ…はい…

す…

ドキッ



なんて呼ばれたんだろう…

そういえばお貸した本はどうでしたか？



あっ…まだ途中なんですけど…

純愛物…って言うんでしょうか

ドキドキ

ドキ…



そうですね…これは男女のそれですけど…同性愛を題材にした作品も書かれていますよ

えっ？

ドキ…



ど・同性って…

男性同士の…興味ありますか？

えっ…あの…

男性同士だと…ここで愛し合うんだそうです

ギョッ



ぼほぼほくは
文香さんが好きですし
そういうのに興味はっ…

あっ…

カアア…

そういう意味では
なかったんですが…

か…からかかってるなら
やめてください

エーッ…



この間から…
文香さんのこと
よくわからないです…

なんで僕に
あんな事…

今日だって…
どうしてここに
呼んだんですか？



ごめんなさい…

あります君に…
知ってほしくて…



ありす君の
感じている気持ちも
知りたくて…

えっ…
それは…

キキキ
キキキ
キキキ

ありす君が…
私の中に入る時…
とても満たされた
気持ちになるんです



私の気持ちも…
知ってほしくて…

えっ
キキキ



ちゃんと…
ありす君の体に
負担にならないように
しますの…

あつ…この間
買ってたの…

はっ

しまっ



ああ...

でも...

そう...
まだ早...



抵抗...
できない...

大丈夫です...
ゆっくり
慣らしますから...

ズル...

ズル...



不安...ですか?

ズル...



もう少し...
足を...

ズル...

ズル...

ズル...

ズル...



まだ優しく
触れられてる
だけなのに...

反応しちゃっ...っ



ひゃっ!!

な...何っ?



潤滑剤です...
動かないで...



もう...大丈夫
でしょうか...

そのまま...
息を吐いて...

私の…一部だと
思ってください…

文香さん…の？

な頭…いつはい
うて…

何も考え
られな…

力…抜けて
きましたね…

文香さんも
こんな風に感じて
たのかな…



余計におさまらなくさせてしまったでしょうか...

あ... まだこんなに脈打って...

あ...

失礼…します

もっと…
優しくしたいと
思うのですが…
あります君を見ていると
私の中に獣がいるような
気持ちになるんです…

ちよっ…待っ
あっ…文香さんっ

こんな気持ち…
でおかしいの…
でしようか

さつき出した
また…つ

いっ…いえ…



それは…
たぶん僕も…っ

ありがとうございます…



もっと…私にも
触れてください…っ

もっと深く…
ありす君と
つながりたいです…

あっ…
文香さん…っ

んんっ…中で…
脈打って…っ

ごめんなさい…っ
僕…もうっ…!!





ありす君…

んんん…

あっ…

七瀬…



すみません…
また…ありす君に無理を
させてしまったのでは
ないでしょうか…

炎も飛び越せるような
強い感情は…自分には
ないだろうと思っ
いたのですけどね

キゅっ…

えっ…?
どういう…

なんでも…
ないですよ

い…いえっ

文香さんは三島由紀夫とか読んでそうだなーとか
いろいろ妄想を詰め込んだり描きたいシーンだけ
つなげていったらなんだかまとまりのない話に
なった気がするけど満足です

こちらからご意見・ご感想をお送り
頂けると描きおろしイラストを
ご覧になれます



<http://nekomataya.net/111/>

少年ありすと秘密の扉

2017/04/30

ねこまた屋

<http://nekomataya.net/>

ねこまたなおみ

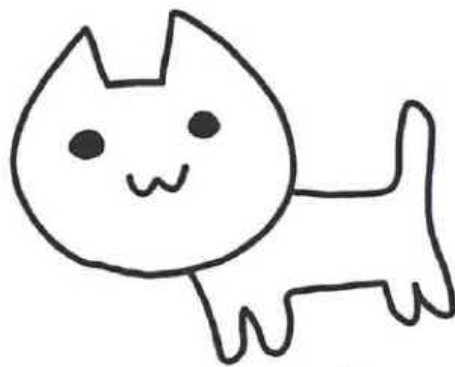
naomi@nekomataya.net

印刷: アクシス出版

<https://twitter.com/nekomata>



<https://pixiv.me/nekomata>



ありがとう
ニャーニャーしました

20170430
ねこまた屋

